

# 静岡県支部会報

第25号

日本大学通信教育部校友会

令和3年11月10日発行

## 母からの連想

昭和55年 文理学部卒 山田 澄枝

令和3年の夏、母が95歳で生涯を閉じた。母は父が亡くなった後、長くて孤独な夜をどうやって過ごしたらよいか考え、79歳の時に点字を習い始めた。まず講習に通って基礎を覚え、それから本を調べながら絵本や童話の点訳を始めた。出来上がった本は視覚支援特別学校に寄贈し、94歳で施設に入るまで、その数は100冊以上になった。その間に右目は眼底出血で見えなくなり、左目も白内障で視力を落とした。それでも点訳をやめなかった理由は、生徒さんたちからいただいた点字で書かれたお礼の手紙だった。「新しい本が読めてうれしいです。」「次の本を楽しみにしています。」という言葉が母をどれほど喜ばせたことか。間違いなく点訳が晩年の生きがいとなった。

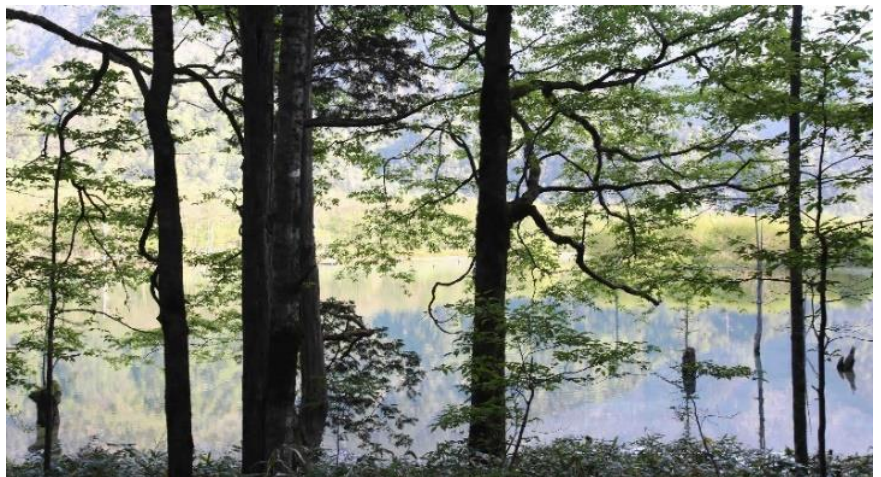
障害のある人が健常者に力を与える。それを実感したのが、この夏のパラリンピックだった。今までパラリンピックをこれほど観戦したことはなく、様々な競技があることとか、障害の程度のランク付けが細かく作られていることなど初めて知った。そして、障害をもって生まれた方だけでなく、突然の病気や事故により障害者となった選手たちも多く、障害者と健常者の間に垣根など一切ないということを実感した。テレビで選手たちの姿に勇気もらった。励まされた。中でも印象に残っているシ

ーンは、男子100メートルバタフライだ。優勝した全盲のスイマー・木村敬一さんは表彰台で涙を流した後こう言った。「国歌は金メダリストの特権。僕らはそうでないと勝ったことを実感できないと思う。」木村さんの涙の訳を知ったとき、障害のある方々の気持ちを想像することの難しさをあらためて考えさせられた。

ブレイディみかこさんが著書「僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー」の中で触れていた言葉”エンパシー”が頭に浮かんだ。一般的には「共感」と訳すことが多いが、みかこさんはこの言葉を「他人の立場に立つこと」「他人の気持ちを想像すること」という意味で使っている。他人のことを自分のことのように考えるのは簡単なことではない。しかし少しずつ、人の気持ちに敏感になっていくことから始まるのではないだろうか。

母の死、そしてこの夏に思ったことを、徒然なるままに綴ってみた。

2021.10.25 (日) 記



\*\*\*\*\*

## 心に残る「カタカナ」言葉

昭和35年 文理学部英文科卒  
大高 貞男



小学校6年生当時、国語の教科書にウインブルドンのテニス大会で、日本の清水善造選手と米国のチルデン選手が対戦しました。試合中チルデン選手がつかずき転びそうになった時、清水選手はチルデン選手がボールを拾えるところに返し、観衆から大喝采があったそうです。ある記者が観衆の一人に日本と対戦国のどちらを応援するか聞いたところ、「オフコース・ジャパン・サー」ということでした。私は、先生にどのような意味ですか、聞いたところ、「もちろん日本ですよ」という意味です。と教えていただきました。この「カタカナ」言葉が私に外国語に興味を持たせる動機づけになりました。後年、英語に関わる仕事につくとは思いませんでした。在職中は、英語よりフランス語を使用することになりましたが、現在もボケ防止になればと、週1回フランス語の講座に出ております。

2021/1/21 木 記

\*\*\*\*\*

## 今、思うこと

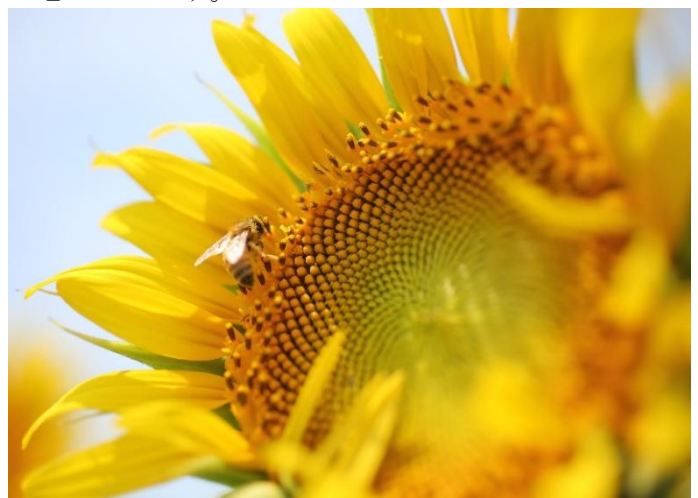
平成17年 文理学部英文科卒  
T.K

日大通信に入学前、私は英語をもっと学びたい、大学に入学し、卒業したいと漠然と考えていました。ただ既に就職していましたので、退職してまでも入学しようとは考えていませんでした。そんな時、偶然が重なり日大通信に入学できました。これは私にとってターニングポイントであったと思います。

日大通信では英文学専攻で英語を中心に学びつつ他科目も学び、大学卒業資格を得ることもできました。また思いがけず教員免許も取得でき良かったと思っています。

中高年に差し掛かった今、新たに放送大学で心理学の学習を始めました。日大通信でのレポート作成、スクーリングの学習経験があったので違和感なく入学し学習を続けています。日大通信で得た学ぶ姿勢を大切に、日々成長していく私でありたいと思います。また、同じ日大通信卒業生としての絆も深められたらと思います。

コロナ禍であり苦しく大変な時であります。皆様におかれましては健康第一でお過ごしください。



2021.9.28 (火) 記

\*\*\*\*\*

## 未来へつなぐ「一通の手紙」

平成13年 商学部卒 落合 貴子

2019年1月19日、静岡大学で開催された亡き祖父の書いた手紙をもとにした「一枚の手紙から学ぶ太平洋戦争」と言う甥の講演を聞いた。写真だけしか知らなかった祖父が歩んできた出来事を知り、胸が熱くなって、私は溢れ出す涙を抑えるのがやっとだった。

私が祖父について知っていたのは、フィリピン沖で戦死し、仏壇の上の若々しく凛々しい軍服姿の写真と一通の手紙が残っていることだけでした。残された手紙の内容は達筆でさっぱりわからず、祖母も父も戦争中のことに関して、話そうとはしなかったもので、どこか遠くの存在の人でした。

私が祖父の人生を知るきっかけは、甥が高校の社会科の教師になり、曾祖父（私には祖父）が書いた一通の手紙に興味を持ったことにより、曾祖父の短い人生に何があったのかを調べ研究し発表したからです。甥は、曾祖父の29歳までの生き方を「太平洋戦争を考える」授業の教材として使用して、教員育成講座で講演発表しましたが、私は、これを聴いたのです。講演に依ると、私の祖父は、大正5年に



四男として生まれ、21歳で陸軍に初入隊。24歳にて結婚し3人の子供を授かり、28歳に最後の応召。29歳の誕生日に妻にあてた手紙を残し、同年セレベス島に向け航行中に攻撃に遭い沈没。29年の短い人生に幕を閉じました。講演から祖父のひととなりも知りました。祖父は入隊してから、妻から送ってもらった家族の写真をいつも胸のポケットに入れ、「子供たちは元気になっているだろうか」と戦地から子供たちを思い、残してきた妻へは負担を掛けることをいつも案じている優しい人でした。

甥が曾祖父の人生を調べる中、同じ時代を生きた関係者に当時の体験を聴き取り、資料に残すことができたことは大きな役割だったと感じます。今回の講演を聞き、私は祖母が健在の時にもっと祖父について聞けたのではないかと、もっと戦争中の苦労を教えてもらえばよかったと後悔しました。とても大事なことに目をそらして生活していたように思います。今回27歳の甥の講演を聞き、祖父が未来へ託した希望がここに実っていることを実感し、私も過去から未来へ繋ぐ一人として、自分自身にしっかり目を向け更に学んでいきたいと強く思いました。

2021.10.3 (日) 記

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

## 「21世紀は生命の世紀に！」貢献の夢

NPO法人 SHIDA 代表理事  
昭和46年 法学部法律学科 卒 杉山 秀夫

「20世紀は戦争の世紀だった。だから21世紀は生命の世紀に！」と識者が呼びかけた。その通りだと感銘を受け、自分も何か出来ないかと思った。そして、現在も続いているタイ国境付近に住む山岳民族の子供たちの教育支援も、微力ではあるもののきっと役にたつと、活動にも力が入った。中学から支援した子供たちも、夢だった先生となり、看護師となるなど、それぞれの夢に向かい活躍を始め、社会に貢献するようになり、とても喜んでいる。

ところが世界はどうだ。シリア、ミャンマー、アフガニスタン等々荒れに荒れている。私たちの活動は、タイとミャンマーとの国境付近のため、ミャンマー国軍によるクーデターは、すぐ影響を受けた。ミャンマーから祖母を頼り、タイで学んでいた支援の子供が国境封鎖で、両親のもとへ帰ることが出来なくなった。祖母も高齢で体調を崩したため、既にミャンマーに帰っている。高校2年になった彼女は、一人ぼっちとなり、今高校の寮で暮らし学んでいる。

政治は、国民の生命と財産を守るものだ。国軍は国民を守るものだ。選挙に負けたためクーデターを起こし、武器も持たず行われた自国民の平和的デモに対し、発砲するなど狂気の沙汰だ。国際社会に助けを求めても、内政不干渉とか言う国もあり、救済の支障となっている。そればかりか、そんなクーデターを起こした国軍を支援する国すらある。民主派の人たちは、武器をもって対応する軍に素手では対抗出来ないと、反政府勢力の力を借りようだが、これでは最悪の内戦となってしまう。

実は、私たちの活動は、一部ミャンマーの反政府勢力の人たちの教育支援も行っている。タイ国境警備隊の友人に、どうしても見て欲しいと言われ訪問

し、その悲惨さに驚き、主に楽器文具等の支援をしている。訪問当初は、国軍と対峙していたため、この基地全体がピリピリしていたがアウンサンスーチーの国政参加により、停戦協定を結び基地全体の雰囲気は穏やかになったのを実感した。日本では当たり前だが、平和とはこんなに温かいものかと感じた。

国軍のクーデターに対し、今彼らがどんな行動をしているかは分からない。先生になりたいと目を輝かせて話した彼はどうしているだろう。今頃銃を手にしていないだろうか？ あの可愛い笑顔を見せた14歳だった少女兵は？

クーデターなど武力行使は、臆病で対話が出来ない、理論的に勝つ自信がない者が行う、最も野蛮で卑劣な行為だ。そんな愚かな権力者のために、彼や彼女の人生が狂わされるのは耐えがたい。ミャンマーの両親のもとに帰ることが出来ない子供も含め、出来ることなら訪問し、激励してあげたいと思う。

とは言っても、コロナ禍で、2年も訪タイ出来ず、減少傾向にあるとは言え全国ワクチン接種率は、22%というタイの状況は、訪タイはもう少し辛抱しなければならぬかもしれない。訪タイが実現しても、ミャンマー側にある反政府勢力の基地訪問は、平常時でも厳しいのに、クーデター後は不可能に近い。

しかし、どんな状況になっても、微々たるものであっても、自分の「21世紀は生命の世紀に！」への貢献の夢は、諦めない。「小さくてもきっと花咲く時が来ると信じ、これからも自分の決めた道を歩んでいこう」と思う。

2021.10.1 (金) 記

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*



楽器文具贈呈（基地内）



先生になりたいと（国軍から逃れてきた子供）  
（両親は射殺された。）



ミャンマーへ帰れなくなった支援の子供（右端）



反政府勢力基地



授業風景（基地内の教室）

\*\*\*\*\*

## 新しい発見

文理学部文学専攻  
(英文学)  
平成29年度卒  
笠井 伸子



コロナ禍、皆様いかがお過ごしでしょうか。日常が様変わりして、不便を感じる人が多い一方、私は、いままで当たり前であった健康があることに改めて感謝しています。

そんな私が、今年の6月から新たに始めたことがあります。日本語教師養成講座に通い始めたことです。ご存じの方も多いかと思いますが、主に外国語母語話者対象に、外国語学習としての日本語教育があり、それを担う日本語教師は、現在、民間資格です。資格取得の方法の一つに、養成講座の受講があります。そこで、自身の母語である日本語と対峙しているのですが、改めて「が」「は」は何が違うのと聞かれると、どう説明したらよいかわからないのです。「象は鼻が長い」と「鼻は象が長い」は何が違うというのでしょうか。日本語教師は、これをわかりやすく説明できるのです。頭が下がります。

さて、皆様、「やさしい日本語」をご存じでしょ

\*\*\*\*\*

## WEB と人との繋がり

文理学部・文学専攻国文学 平成23年度  
大石 英司

コロナ禍により多岐に渡る催しが中止や延期、或は規模を縮小しての実施となっています。良し悪しは分かりませんが、これが今の時代だということは確かに言えることです。また、仕事においても出社せず在宅勤務となり、日常のスタイルが大きく様変わりしました。

しかし、見方を変えてみると人とのコミュニケーションを図る機会が失われていることでもあります。その影響は若年齢層において顕著に表れているように感じます。SNS 上では頻繁にや



うか。聞いたことはある、という方もいらっしゃると思います。1995年の阪神淡路大震災を機に提唱されたもので、第二言語として日本語を使用する人たちに伝わりやすい日本語のことです。必要な情報を、シンプルで明確に伝わるよう工夫されており、現在は観光業でも使われています。ご興味のある方は、ぜひ、「やさしい日本語 ツーリズム」とご検索ください。

外国人の方が、戸惑うのは、例えば、次のような言葉です。「少々お待ちください」、とか、「料金前払い」、という言葉です。私たちは、なにげなく、ごく当たり前に使っていますが、実はとても難しいのだと思います。

少々お待ちください

→ すこし まってください

料金前払い

→ さきに お金を はらってください

このように表現していただければ、外国の方には、とても分かりやすくなるのです。

今日、外国をルーツにもつ市民は増えています。これからは、多文化多言語共生社会に入ります。「当たり前」の日本語と向き合い、多くの方々と仲良くできたらと思います。私の毎日は、こんなふうに、新しい発見をいただき、楽しく過ごしております。

2021.10.4 (月) 記

り取りをしているようですが、直接の会話となるとできない・目を合わせられない・下を向く等々の傾向が生まれています。しかし、「会話いつもしてるよ」と言います。若年齢層の会話とは言葉を交えてのものではなく、画面に表示される文字のやり取りのことを意味するのでしょうか。そこでは、気持ちが伝わりませんから本当の人の繋がりを見出すことは困難だと思われます。

コロナ以前は、当たりの会話を伴う直のコミュニケーションがなされておりましたが、コロナ禍で

これが断たれたことから、改めて、催し等は人と人を直に繋ぎ、コミュニケーションスキルを高める上で必要だったことに、今更ながら気付かされた思いです。

2021.10.1 (金) 記

## サポーターと共に歌える日

平成15年 文理学部卒 鈴野 いすみ

現在 COVID-19 の影響で、校友の皆様も何かと行動を制限されお気を使われる毎日をお過ごしのこととお察しいたします。私は、医療従事者であり、また、高齢の母を抱える身としては、予想もしない2年となりました。会報へ一言記す機会をいただいたので、折角静岡ですので、サッカーの話しようと思います。

今年のオリンピックでも、メキシコ以来の銅メダルが期待されていましたが、残念な結果になりました。私は、メキシコ五輪における日本のサッカー銅メダルを歴史としてしか知らないのですが、Jリーグが始まる前から高校サッカー選手権に夢中になっていた程、サッカーが好きでした。清水エスパルスが誕生した時、企業ではなく市民が支えるチームとして選出されたことが誇らしかったことを覚えています。エスパルスは1992年7月に誕生してもうすぐ30年になります。清水東高校出身の三羽鳥

と静岡学園出身の三浦康利、向島建の二人が中心メンバーとしてJリーグのオリジナル10となったチームで、ボルサリーノが似合った(笑)レオンが監督となり、初期の優勝を狙えるチームでした。でも、あの頃、清水市在住者は、そのオリジナル故にプライドも高く、清水の人から「エスパルスは清水だからね、静岡はホームじゃないよ。」と言われた一言です。清水市が合併された今では笑い話かもしれませんが、当時、静岡人の私としては、一応傷つきましたね。

でも、駅伝に日大が出ていると応援に力が入るように、エスパルスが自分の元気の元になっています。現在、コロナの影響で不特定多数の人が居るところは禁止されているので、スタジアムで応援に行くことができませんが、また再び、大きな声を出して共に応援できる日が来ること、エスパルスの応援歌を心置きなく他のサポーターと共に歌える日が来ることを心から願っています。

校友のみな様もどうぞお身体ご自愛くださって、夫々の楽しい日々が過ごせる世の中になることを心から祈っています。

2021.10.10(日) 記



\*\*\*\*\*

## 最高の一杯のために

平成28年 法学部法律学科卒 税理士 嶋津 亮

私の趣味の一つに10歳の頃から続けている釣りがあります。実に人生の4分の3近く、飽くことなく、続けています。そんな私が現在、夢中になって追い求めている魚、それがヒラメです。このヒラメを肴に、お酒を嗜む、この瞬間が、至高のひとつになっています。

ヒラメとの出会いは今から7年前のことで、遠州灘の砂浜から疑似餌でヒラメを狙うことができる、

と耳にし、何と、初めて行った日に偶然にも良型を2匹キャッチすることができました。その夜、釣ったヒラメを刺身で食した時に感じた、「甘さ」が何





とも衝撃的で、また食べたい、という欲が湧き、この日から完全にヒラメの虜となってしまいました。

ヒラメと言えば、船で沖に出て、深海を狙うイメージですが、実は、色々な所に生息しており、全国各地の砂浜の水深 1m 未満のところにも入ってきます。私が今まで釣り上げてきたヒラメの中での最高記録は、65cm です。

ヒラメを美味しく食すために、私のバージョンが次第に上がってきています。まず、釣った後の処理が大変重要になります。釣り上げてすぐに脳締めと血抜きをしっかりと行うと、魚の持っているエネルギーが消費されなくなり、旨味成分を保つことができます。そして、新鮮なヒラメを食して、甘さを味わうのも一つの楽しみですが、今、魚の熟成に大変興味を持っています。これは、化学構造、熟成方法は違うでしょうが、牛肉の熟成と共通します。魚を程よく熟成させることで、旨味成分の一つであるイノシン酸の量を増やすことができ

\*\*\*\*\*

## 「散歩とコミュニケーション」

平成12年 商学部卒  
海事代理士 深澤 洋二郎

我が家には、私たち夫婦のほかに三人の子供がいる。彼らは、シッポをフリフリしながら、毎日仲良く楽しそうにじゃれあっている。そう、子供と言っても人間様ではなく、三匹の小さな可愛いチワワのことだ。



るのです。熟成をさせる方法として、ヒラメのサクを昆布締めにしておくと、昆布の旨味成分の一つであるグルタミン酸と合わさり、旨味が数倍にもなるとのことです。

近年、砂浜から疑似餌を使ったヒラメ釣りがもの凄く流行っており、休日ともなると、5m 間隔で釣り人が砂浜に並び、時には数キロ先まで並ぶほど混み合います。この混雑を避けるために、最近、私は、平日の早朝 4 時頃から砂浜で釣りをし、7 時前に切り上げて仕事へ向かうようにしています。ヒラメの釣果があれば、お昼休みに友人の魚屋さんの所へヒラメを預け、サクにしてもらっています。ヒラメは 4 サクに分けることができますので、帰宅後に 1 サクを刺身で味わい、残りは熟成させて、数日掛けて食しています。早起きによって仕事の際には頭も冴え、帰宅すれば美味しいヒラメが待っていますので、一日張り合いが出ます。最高の一杯のために、どのようにしたらヒラメが最も美味しくなるのか、日々研究しております。皆様もぜひ、お近くの砂浜から、疑似餌を使用したヒラメ釣りに挑戦してみてくださいいかがでしょうか。



2021. 10. 03 (日) 記

一番上の年長者は十四歳のオスで、人間の年齢に置き換えると後期高齢者になるという。警戒心が強く気性が激しいチョット気難しい性格で、油断すると、まさに「飼い犬に手を噛まれる」こともしばしばで、妻はこのオスのチワワと相性が悪い。そのため、不用意に近づいたり触れたりせず、困ったことがあると、すべて私に押し付けてくる。

二番目は十二歳の黒毛のメスで、性格はとても大人しく、飼い主に従順で、喜怒哀楽？はほとんどなく、知らない人からも可愛がられ、女の子だからこんなに



も飼い易いのかと思ったほどだ。

ところが、三番目のチワワは違った。白毛のメスでまだ九か月、いつも眠たそうな眼をしている。一見すると大人しそうに見えるが、とても活発で、家の中から庭まで縦横無尽走り回り、元気ハツラツそのものだ。見た目とは違ってとても気が強く、時々、最年長者に反撃を加えることもある。それが原因で高齢チワワが心臓発作を起こし、動物病院に連れて行ったこともある。しかし、人に噛みついたり、威嚇するようなことはなく、訪問客が来ると一目散に飛び出して、お客様の膝に乗って愛嬌を振りまき、見た目と同様に愛らしいワンコだ。



さて、国内では新型コロナウイルスの感染者が減少傾向にあるものの緊急事態宣言は継続され、不要不急の外出自粛が未だに解除されていない。したがって、日用品の買い物や銀行等への手続き以外は殆ど在宅の日々を過ごしている。せめて国内旅行でもと思いつつ、外出を我慢しなくてはならない。当然、家にいる時間が長く退屈するので、少しなまった体を動かそうと、愛犬と一緒に早朝の散歩を始めることにした。

散歩に同伴するのに、どの仔がいいか考えるまでもなく、一番扱い易い二番目のワンコとお出かけする。三十分程度の少し速足で近所を散歩するのだが、小さい犬がテコテコと歩く姿がとても愛らしく見えるのか、小さな子供や知らない大人からもよく声をかけられる。「小さくて可愛いね、何か月になるの。」と言われるが、十二歳（既に高齢者）とは言えずに、「もう大人ですよ。」と言ってスタスタと通り過ぎる。チワワの十二歳は、人間の年齢に換算すると六十四歳にもなるそうだが、犬とはいえ幼児犬と老婆犬の見分けがつかないのも、犬好きでない限り致しかたがないことだ。

今では、早朝の愛犬との散歩は、健康管理上も欠くことのできない大切な日課となっている。朝の散歩は静かで清々しく、空気もきれいで、心身のレフ

レッシュには最適だ。

ある学説によれば、犬の散歩には運動以外にも様々な要素があるとの研究発表がある。人間の数十万倍以上もある嗅覚により、ただ嗅ぎ分けるだけでなく、匂いの中から幸せや悲しみ、あるいは環境の変化なども敏感に感じ取り、嗅ぐことによって情報伝達をしているのだという。匂いを嗅ぐ行為は好奇心や警戒心だけでなく、人間でいう会話に近いものがあるようだ。犬は飼い主と散歩することによって会話し、安心感や連帯感を育み、社会環境に馴染んでいく。

また、人間の側にとっても、散歩中に知り合った別の飼い主と知り合い、会話して交友関係が広がり、健康な生活を過ごすことができるというメリットもある。

ある日、いつものように散歩をしていると、前方から黒色の大型犬を連れた女性が近づいてきた。わが仔が大型犬に威嚇されないようにと横道を曲がろうとすると、「深澤さん？チワワを三匹飼っていますよね。」と声をかけてきた。「はて？どなただろうか。」「昔の仕事仲間だろうか。」と思案していると、「あのお寿司屋さんでお会いしましたよ。」と言うではないか。私は然覚えていない。「私、きっと酔っぱらっていて、覚えていないので申し訳ない。」という、その女性も「私も酔っていましたよ。」と答える。もし、犬を連れて散歩をしていなかったら、もしも私がひとりで散歩をしていたら、きっと、このような他愛もない会話はなかっただろう。犬を連れて散歩すると、犬を介して共通の趣味や話題があることで、お互いに安心感や親しみが湧き、会話が弾むのだと思った。

早朝の散歩は、新鮮な空気を感じながら、心も身体もリフレッシュできるほか、このような人や犬との出会いもある。外出自粛中であっても、犬の散歩は健康管理だけでなく犬のストレスを解消するうえからも大切だ。犬との散歩は、犬本人？いや犬だけではなく、飼い主のコミュニケーション能力までも高めてくれている。ひょっとすると、私が犬を散歩させているのではなく、愛犬チワワが私を散歩に連れ出しているのではないだろうか。

そういえば、リード（綱）を持っているのは私だが、主体的に立ち止まったりクンクン匂いを嗅ぎながら、リード（先導）して私を引っ張っているのは、愛犬チワワのような気がしないでもない。

おわり

\*\*\*\*\*

## 日本大学の広告

昭和 43 年 経済学部卒  
静岡県支部長 弁護士 後藤 正治

テレビでプロ野球の観戦をしていると、野球場のダッグアウトのところや各所に「日本大学」の広告が目につく。どうして、こんな広告をする必要があるのだろうか、我々は、毎年、年会費を支払っているけれども、こんなところに使われているのだろうか。「私は、嫌だな。反対だ。会費を支払いたくない。」と見る度に思う。日本大学は、知名度の高い大学であり、広告の必要がない。そもそも大学とい

\*\*\*\*\*

## 支部長挨拶と編集後記

静岡県校友会支部長 後藤 正治

新型コロナウイルスの猛威は、日本のみならず世界各国に深刻な影響を与えています。しかし、ワクチン接種が進み、緊急事態宣言の発令により 2021 年 10 月は、急速に罹患者数が減少してきました。明るい方向ですが、油断大敵であり、第 6 波の到来があるだろう、との予測です。現在、未来においても、決して盤石な時代はないことを告げています。

新型コロナウイルスの猛威により例年開催していた 6 月、8 月の静岡支部幹事会、10 月の支部総会の何れも流会となりました。どこの支部、みな様の仕事や交流など同様の環境だったと思います。このような時、じっと活動を控えるとともに、「いまがチャンスだ」という発想が不可欠だと思います。

支部会報をお届けします。会報第 25 号は、このような時こそ、しっかり作成して、皆様にお送りしようと考えて、メールアドレスを交換している支部会員のみな様にお願いしたところ、10 名が原稿を寄せてくれました。原稿をお願いすると、みな様、快く引き受けてくださいました。さすがに、レポート提出で苦勞し、文章書きを仕込まれた方々です。お送り頂いた原稿内容は、みな様の活力を感じるものばかりです。ありがとうございました。



うのは、本来、学問の府であり、プロ野球の野球場に広告を出す必要がない。何を考えて、広告を出すのだろうか、大学を考える上で、基本的な精神が見えない。通信教育で学んできた我々の原点は、仕事の合間を縫って学び、苦勞し、そして、ひたすら学ぶことであった。この学びと広告は、結びつかない。

2021/9/8、日本大学本部に強制捜査が入った。その捜査で何が出てくるのか、分からないが、日本大学本部は、日本大学とは何か、大学はどうあるべきかの基本的な精神からの問いかけができていないことに「広告」と共通する問題がある。我々は、大学はどうあるべきか、改めて考える必要がある。

2021/9/10 木 記

原稿は、人生に関するもの、社会貢献に対する希望、社会に対する評論、趣味のサッカー観戦、釣り、散歩などです。ご覧ください。

ところで、みな様にお届けする会報は、費用の関係で、白黒ですが、原本は、カラーです。しばらくしますと、日本大学通信教育部 校友会支部だよりの下記HPにアップされますので、カラーでご覧になってください。

<http://www.nudld-koyukai.sakura.ne.jp/wp/支部総会写真集/>

また、私のメルアド

([masaharu.goto@nozomilawfirm.jp](mailto:masaharu.goto@nozomilawfirm.jp)) に、みな様のメルアドを送ってくだされば、カラーの会報を PDF でお送りいたします。是非、わたし宛にメルアドを送りいただくと嬉しいです。

幹事長・事務局長の田中由雄さんには、今年も、大変助けられました。役員会、総会が中止となっても、役員会、総会の書面決議の発送と回収、会報の印刷、発送など事務量は多大です。よろしく願いいたします。また、この会報は、のぞみ事務所の事務員がサクサクとレイアウトをしてくれました。原稿の校正、写真の配置などは、大変な作業です。これ

がなければ実現し得ません。感謝、感謝です。

これからもみな様の参加とご意見をお願いいたします。

みな様とご家族様の健康を祈念しております。

2021/10/31 (日) 記

\*\*\*\*\*

## 会員参加と会費のお願い

支部総会には、気楽にご参加いただくと幸いです。去年も、今年も幹事会と総会は、開催できませんでした。新型コロナウイルスの影響は、凄まじいものがありました。いづこの会合も同じように開催できなかったことと思います。幹事会は、役割付きの会の名称ですが、役割抜きで交流し、いつも盛り上がっていました。会員には、教師、税理士、海事代理士、行政書士、弁護士など多彩です。会員は、在学中レポートや単位修得試験などで苦労してきたので、共感意識が高い間柄です。初対面でも、大いに話が弾み、交流が始まります。また、仕事に関する相談など会員同士で活用してほしいと思います。開催できるようになりましたら、大いにご参加ください。

静岡県支部会費は年額1,000円ですが、会費を支払った以上に有益な話や交流ができるものと思います。

この会報をお受け取り次第、お忘れの無いよう同封の郵便振替用紙を用いて振込んで下さい。予算は大切に使用して頂いており、支出にあたっては、必要最低限度での使用を心掛けております。ご理解とご協力を切にお願いいたします。

ご寄付は多少にかかわらず歓迎です。

### <振込先>

振替口座 00880-7-35164  
日本大学通信教育部校友会 静岡県支部

## 会報の広告

会報広告の掲載に参加してください。広告の意味は、会員の広告・宣伝のように見えますが、通信教育を卒業した後、どのような活動しているかの紹介と考えています。また、静岡支部のメンバーは、立派に活動しているんだ、という広告です。広告は、ご本人のため以上に、支部のメンバーへの発信、ひいては、全国の校友の励みになると思います。

通信教育在学時、一生懸命、勉学に勤しみ、他方で、自分の人生がどのように展開して行くか、不安を持ちながらの毎日でした。その在学時からいま、このようなチャレンジをしている、人生を歩んでいくと言う自己紹介の場でもありたいものです。

広告料をいくらとするか、校友会での扱いはいろいろです。多くの方の参加を思うと広告料は、安めでよいと考え、1枠3000円です。みな様の参加をお願いいたします。

発行人 後藤正治 電話 055-941-7000  
事務局 田中由雄 電話 055-987-7880  
渡辺孝哉

日本大学通信教育部校友会静岡県支部  
〒411-0044 三島市徳倉 2-29-9  
田中由雄 方



日本大学通信教育部校友会 静岡支部幹事

**フカザワ海事法務事務所** 海事代理士・行政書士 深澤洋二郎

(平成12年 商学部卒)

「学ぶ姿勢」が人生の指針

〒420-0816 静岡県静岡市葵区沓谷4丁目4番16号

TEL/FAX 054-247-9803

Email : yo\_ji1950@yahoo.co.jp

## 小松征夫税理士事務所

税理士 小松 征夫

チャレンジが人生を創る

(平成元年経済学部卒, 平成6年法学部卒  
日本大学通信教育部校友会 静岡県副支部長)

〒433-8111 静岡県浜松市中区葵西4丁目7番44号  
TEL 053-488-4834 FAX 053-488-4843  
Email: yk333@mvd.biglobe.ne.jp

タイ・山岳民族の子供を支援する

## NPO法人 SHIDA

代表理事 杉山 秀夫

(昭和46年 法学部法律学科 卒  
日本大学通信教育部校友会 静岡県副支部長)

1番苦労した人が1番幸せになる権利がある

SHIDAはそれを教育の力で実現に挑戦しています

〒425-0068 静岡県焼津市中新田892-1  
TEL・FAX (054) 624-3194  
URL <http://shida.yu-yake.com>  
Email [hsugiyama58@yahoo.co.jp](mailto:hsugiyama58@yahoo.co.jp)

日本大学通信教育部校友会  
静岡県支部 会計監査

## 山口 良児

(昭和47年 経済学部卒)

剛毅木訥の人生であれ

〒410-0054  
静岡県沼津市北高島町21番4号

TEL (055) 922-8514

## 伊藤秀俊税理士事務所

税理士 嶋津 亮

自由・信念・努力

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部 幹事  
(平成28年 法学部卒)

〒435-0012 静岡県浜松市東区安間町290-1  
TEL 053-422-1822  
E-mail: [shimazu-ryo@tkcnf.or.jp](mailto:shimazu-ryo@tkcnf.or.jp)

## のぞみ 法律事務所

所長 後藤 正治

(昭和43年 経済学部卒  
日本大学通信教育部校友会 静岡県支部長)

弁護士 後藤真希子 弁護士 山本 孝介  
弁護士 影島由美子 弁護士 杉山 裕紀

〒410-0831 静岡県沼津市市場町12番7号

TEL (055) 941-7000

URL <https://nozomilawfirm.business.site>

## 令和2年度 通信教育部校友会

### 静岡支部収支決算書

自 令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

#### 収入の部

科 目	金 額	適 用
前年度繰越金	168,226	
会費収入	43,000	43名分
総会収入	0	
寄付金収入	0	
雑収入	60,668	会報発送代本部からの補助 (57,668円)
広告費収入	18,000	@3,000×6名 (後藤・小松・杉山・深澤・繁田・山口)
前受金収入	17,000	6名分
合計	306,894	

#### 支出の部

科 目	金 額	適 用
消耗品費	17,960	封筒・ゴム印・文具・印刷代
通信運搬費	85,785	幹事会・総会案内郵送料
旅費交通費	0	
会合費	0	
手数料・報酬	20,000	事務手数料
雑費	5,000	通信役員年会費
次年度繰越金	178,149	普通預金・郵便振替口座にて保持
合計	306,894	

令和2年度決算収支について、関係帳簿ならびに証拠書類を精査いたしました。記帳その他正確であることを認めます。

令和3年6月30日

会計監査

山口 良児 ㊞

土屋 忠得 ㊞

